

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公表番号】特表2007-534977(P2007-534977A)

【公表日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-046

【出願番号】特願2006-532247(P2006-532247)

【国際特許分類】

G 10 H 1/34 (2006.01)

G 10 H 1/053 (2006.01)

G 10 H 1/18 (2006.01)

G 06 F 3/02 (2006.01)

【F I】

G 10 H 1/34

G 10 H 1/053 C

G 10 H 1/18 Z

G 06 F 3/02 3 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月22日(2007.5.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の英数字キーを有する英数字キー ボードが関連付けられている音楽キー ボードであつて、

それぞれが音楽的サウンドを生成する複数の音楽キーと、音楽的効果を生成する少なくとも1つの音楽機能キーとを有しており、

前記英数字キーの少なくとも1つが、これを押した際、前記少なくとも1つの音楽機能キーと前記複数の音楽キーとのうちの1つ以上の結果を修正し、

前記複数の英数字キーのうちの1つのキーを比較的速く複数回押すことによって、更なる修正を達成するようになっている、音楽キー ボード。

【請求項2】

前記修正が、前記音楽的効果を生成する機能を有する前記少なくとも1つの音楽機能キーの修正である、請求項1に記載の音楽キー ボード。

【請求項3】

前記音楽的効果が、トリル、トレモロ、及びビブラートから成る群から選択される、請求項2に記載の音楽キー ボード。

【請求項4】

前記修正が、ピッチと速度から成る群から選択される、請求項3に記載の音楽キー ボード。

【請求項5】

前記修正が、前記少なくとも1つの音楽機能キーが押された後に前記少なくとも1つの英数字キーが押されている間のみ有効である、請求項3に記載の音楽キー ボード。

【請求項6】

前記修正が、前記音楽キーの少なくとも1つによって生成される音楽的サウンドを変更

することであり、前記変更が、第1の楽器の音楽的サウンドの変更である、請求項1に記載の音楽キー ボード。

【請求項7】

前記比較的早い複数回のキー押しが2回である、請求項1に記載の音楽キー ボード。

【請求項8】

前記更なる修正が、前記音楽キーの前記少なくとも1つによって生成される前記音楽的サウンドを第2の楽器の音楽的サウンドに変更することである、請求項1に記載の音楽キー ボード。

【請求項9】

音楽キー ボードの操作によって生成されるサウンドを、Q W E R T Y配列キー ボードを使用して修正する方法であり、前記Q W E R T Y配列キー ボードが前記音楽キー ボードに関連付けられており、前記音楽キー ボードが、音楽的効果を生成する少なくとも1つの音楽機能キーを有するものである、前記方法であって、

前記音楽キー ボード上の複数の音楽キーの少なくとも1つ、又は少なくとも1つの音楽機能キーを押したときに、Q W E R T Y配列キーのうちの所望の1つのキーを少なくとも1回押して、前記生成される音楽的サウンドを修正するステップを含み、

前記修正が、前記複数の音楽キーの少なくとも1つにより生成された音楽的サウンドを変更するための前記複数の音楽キーの少なくとも1つの修正であり、複数の前記Q W E R T Y配列キーのうちの1つのキーを比較的速く複数回押すことによって、更なる修正を達成するようになっている、方法。

【請求項10】

前記修正が、前記音楽的効果を生成する機能を有する前記少なくとも1つの音楽機能キーの修正である、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

前記音楽的効果が、トリル、トレモロ、及びビブラートから成る群から選択される、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

前記修正が、ピッチと速度から成る群から選択される、請求項11に記載の方法。

【請求項13】

前記修正が、前記少なくとも1つの音楽機能キーが押された後に前記少なくとも1つのQ W E R T Y配列キーが押されている間のみ有効である、請求項10に記載の方法。

【請求項14】

前記変更が、第1の楽器の音楽的サウンドの変更である、請求項9に記載の方法。

【請求項15】

前記比較的早い複数回のキー押しが2回である、請求項9に記載の方法。

【請求項16】

前記更なる修正が、前記音楽キーの前記少なくとも1つによって生成される前記音楽的サウンドを第2の楽器の音楽的サウンドに変更することである、請求項15に記載の方法。

【請求項17】

前記修正が、前記音楽的効果を生成する機能を有する前記少なくとも1つの音楽機能キーと、前記複数の音楽キーの少なくとも1つのキーとの両方の修正である、請求項9に記載の方法。

【請求項18】

前記音楽的効果が、トリル、トレモロ、及びビブラートから成る群から選択される、請求項17に記載の方法。

【請求項19】

前記修正が、ピッチと速度から成る群から選択される、請求項18に記載の方法。

【請求項20】

前記修正が、前記少なくとも1つの音楽機能キーが押された後に前記少なくとも1つの

Q W E R T Y 配列キーが押されている間のみ有効である、請求項 1 8 に記載の方法。

【請求項 2 1】

前記修正が、前記複数の音楽キーの少なくとも 1 つを作動させたときに生成される音楽的サウンドの修正である、請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記変更が、第 1 の楽器の音楽的サウンドの変更である、請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 3】

前記複数の Q W E R T Y 配列キーのうちの前記 1 つのキーを比較的速く複数回押すことによって、更なる修正を達成することができる、請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 4】

前記比較的早い複数回のキー押しが 2 回である、請求項 2 3 に記載の方法。

【請求項 2 5】

前記更なる修正が、前記音楽キーの前記少なくとも 1 つによって生成される前記音楽的サウンドを第 2 の楽器の音楽的サウンドに変更することである、請求項 2 4 に記載の方法。

【請求項 2 6】

音楽キー ボードの操作によって生成されるサウンドを修正する方法を、Q W E R T Y 配列キー ボードを使用してプロセッサに実行させるようにされているコンピュータプログラムコードを備えている、コンピュータが使用可能な媒体であり、前記 Q W E R T Y 配列キー ボードが前記音楽キー ボードに関連付けられており、前記音楽キー ボードが、音楽的効果を生成する少なくとも 1 つの音楽機能キーを有している、前記媒体であって、

前記方法が、前記音楽キー ボード上の複数の音楽キーの少なくとも 1 つ、又は少なくとも 1 つの音楽機能キーを押したときに、Q W E R T Y 配列キーのうちの所望の 1 つのキーを少なくとも 1 回押して、前記生成される音楽的サウンドを修正するステップを含んでおり、

前記修正が、前記複数の音楽キーの少なくとも 1 つにより生成された音楽的サウンドを変更するための前記複数の音楽キーの少なくとも 1 つの修正であり、複数の前記 Q W E R T Y 配列キーのうちの 1 つのキーを比較的速く複数回押すことによって、更なる修正を達成するようになっている、媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

本明細書全体を通じて、用語「英数字」は、地域又は国の文字体系、筆記体、記号など、コンピュータキー ボード上のキーに存在するあらゆる記号を含むように解釈するものとする。例えば、いわゆる「欧米」英数字キー ボード、すなわち W E R T Y 配列キー ボードは、以下の英数字キーを含んでいる。

a ~ z のアルファベットキー

0 ~ 9 の数字キー

例えば F 1 ~ F 1 2 などの専用ファンクションキーと、インターネットアクセスキーなどのキーを含めたファンクションキー

命令キー、例えば、「E s c」、「E n t e r」、「C t l」、「S h i f t」、「T a b」、「C a p s L o c k」、「D e l e t e」、「I n s e r t」、「H o m e」、「P a g e U p」、「P a g e D o w n」、「E n d」、「N u m L o c k」

カーソル制御キー

上記すべてのキーの「シフト」機能